

カメムシ類・いもち病の発生に注意！

1. 斑点米カメムシ類

防除は出穂10日後頃(粒剤は出穂7日後頃)に行いましょう！

《生育状況と防除時期》

斑点米カメムシ類の発生は、やや多くなっています。適期防除に心がけ、遅れないように注意しましょう。

斑点米カメムシ類に対する薬剤防除の適期は、出穂7～10日後です。粒剤を施用する場合は、田面を露出させない程度に浅く湛水して、散布しましょう。



写真：滋賀県病害虫防除所

《防除時期のめやす》

| 品種 | 移植時期 | 出穂期予想 | 防除時期 | |
|-------|------|---------|---------|----------|
| | | | 粒剤 | 粉剤・液剤 |
| コシヒカリ | 5月上旬 | 7/28～31 | 8/4～7 | 8/7～10 |
| | 5月中旬 | 8/1～4 | 8/8～11 | 8/11～14 |
| みずかがみ | 4月下旬 | 7/16～20 | 7/23～27 | 7/26～30 |
| | 5月上旬 | 7/19～22 | 7/26～29 | 7/29～8/1 |

※「みずかがみ」は、防除時期が「コシヒカリ」より早いので注意!!

雑草管理が不十分な畦畔でイネの出穂期以降に草刈りを行うと、斑点米カメムシ類を水田内に追い込むことになり、被害が増大する恐れがあります。やむなく行う場合は、薬剤防除直前に実施しましょう。

2. いもち病 「葉いもち」は「穂いもち」の伝染源になります！

6月中旬以降曇雨天が続き、いもち病にかかりやすい天候となっています。湖北地域でも「葉いもち」の発生を認めています。いもち病が発生しやすいほ場を中心に見回り、発生が認められた場合は防除しましょう。